

平安時代へ、ごしようたい

❁ 「枕草子」って？

ときにおもしろく、ときに辛口に。

わかる、わかるとひざをうつ！大人気エッセイ

今からおよそ千年前に、清少納言という女の人を書いたエッセイです。見たことや経験したことを思いつくままに書いたものです。

内容は、自分の好きなもの、きらいなもの、普段の生活のこと、季節のことや貴族の暮らしのことなどが書かれています。平安時代の人たちの思いを感じることができず。小さい子はとつてもかわいいな。好きな人をまつているときはドキドキ！たくさん集まってカアカアするカラスはちよつと…。清少納言はこんな風に書いています。「わかる！」「同じ！」、そう思いえることもたくさんあるのではないのでしょうか。

❁ 清少納言ってどんな人？

頭キレツキレの家庭教師！

清少納言はとても頭のよい女の人です。読書家で知識豊か。話しもとても上手だったようです。天皇の奥さんの定子という人の、家庭教師をしていました。平安のスーパーキャリアウーマンです。

❁ 平安時代って、どんな時代？

まさにひな人形、きらびやかな貴族の時代

貴族が社会の中心でした。当時の人たちは、本当にひな人形のような服装で生活していました。また、ひらがなやカタカナが発明された時代でもあります。日本らしい文化が花開いた時代です。

さあ、季節の言葉「春の空」、やってみましょう！

